

平成29年度男女平等推進事業報告(平成30年1月末現在)

資料1

5次計画 における 事業番号	計画事業名	事業内容	定員/人 (組)	回	延べ定 員	応募者 数	延べ 参加者数	受講率	満足(A)	アンケート 提出者 (B)	満足度 (A/B)	29年度実施内容	29年度の成果・今後の課題
5	男女平等教育を進めるための教員研修	教員自身の男女平等教育に関する理解を深めるため、全区立小中学校・幼稚園の人權教育担当者を対象に指導室と人權推進課との共催で研修会を行います。	93	1	93	93	77	82.80%	67	69	97.10%	「多様な性と多様な生き方 ―男女平等教育から多様な性の平等教育へ」多様性に関する講座・講演会として実施。 平成29年7月28日(金)午後2時30分～4時30分 講師:原 ミナ汰、大賀 一樹 (NPO法人共生社会をつくるセクシュアルマイノリティ支援全国ネットワーク) 対象:区立の幼稚園・小学校・中学校に勤務する教職員	1時間程度の講義の後、ワークを行った。4つの事例をもとに対応について話し合い、1事例につき2グループの代表が話し合いの内容を取りまとめて発表した。ワーク時は活発な意見交換が行われた。そのため、アンケートではワークの時間がもっとほしかったという意見があった。
6	男女平等保育を進めるための保育士研修	固定的性別役割分担意識にとられず、個々の個性を大切に保育推進を目的として、保育に携わる職員を対象に男女平等に関する研修会を実施します。	120	1	120	94	94	78.33%	80	87	91.95%	「固定的性別役割分担意識にとられない保育をプロデュース」～多様性を認め合い、生きていく力を身につけるために～ 平成29年11月30日(木)午後2時30分～4時30分 講師:菊地篤子(小田原短期大学保育学科准教授) 対象:葛飾区内の公立・私立保育所の保育士、看護師及び認証保育所、家庭的保育事業者等	アンケートによると保育現場で役立てると答えた人が98.8%と高評価であった。男女共同参画への基礎的な話を噛み砕いてお話されたあと、保育士の問題に寄り添い、保育現場における具体的なワークを30分以上かけて行なったため理解が深められたと思われる。
7	男女共同参画週間に向けた取組	男女共同参画週間について、毎年、「広報かつしか」で周知を行うとともに、男女平等推進センターにおける講座・講演会等の取組を掲載します。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	男女共同参画週間(6/22～6/29) 広報かつしか6月15日号に男女共同参画週間特集を組み、男女平等や男女共同参画への理解を深める記事を掲載するとともに、男女平等推進センターの利用について案内を掲載した。	広報かつしか6月15日号の記事が多かったため、男女共同参画週間特集は6月25日号に掲載となった。
8	男女平等に関する講座・講演会	男女平等の意識づくりと理解の促進に向けた学習の場・機会として、講座・講演会を開催します。	15	1	15	4	3	20.00%	3	3	100.00%	「夏休みわくわく企画!働くママ・パパ応援講座」 ～ママにも夏休み 私だけの時間、私だけの作品づくり～ 7月29日(土)午前10時～正午 対象:小学校1～4年生までの子どもの母親 講師:海原由佳(カウンセラー) 内容:自分を象徴するものを使ってコラージュ作品を作り、作品を見ながら受講者全員でシェアする。	本講座は、集客が難しい男性を講座に呼び込む目的で、区民向けワークライフバランス講座である「オトコの家庭進出実践講座&子どものおはなし会、ジャンボカルタで遊ぼう!パパと子どものペアマッチ」と同時開催で企画したが、申込は少なく、集客面で課題が残った。原因として考えられるのは、広報かつしかの同号に子供向けの講座の特集ページがあり、同日開催の夏休み宿題完成型の講座が複数あったことが考えられ、今後は、あえて夏休みの時期を外して日程設定する。または広報かつしかの掲載時期を早めるなど再考が必要である。
			15	2	30	14	23	76.67%	24	24	100.00%	「ママとパパのハッピー・コミュニケーション講座」全2回 9月2日(土)、9月23日(土)午前10時～正午 対象:子育て中の夫婦またはカップル 15組30名 第1回 9/2 「怒りは連鎖させない!～夫婦で学ぶアンガーマネジメント～」相原あすか(一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定ファシリテーター、怒りの感情教育Clair代表) 第2回 9/23 「夫婦で子育てを楽しもう!～パートナーシップ強化の極意～」林田 香織(ロジカル・ペアレンティングLLP代表 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)	1歳以上未就学児の保育を用意していたが、当日1歳未満の子を連れて出席されたカップルが3組。子連れ同席受講不可の前提であったが、急きょ講師、参加者の了承をとり子連れ同席可とした。同席不可の講座の場合、告知の段階から明記する必要がある。また、子育て中のカップルを対象とした講座は、同席とする等企画段階での検討も必要である。

5次計画 における 事業番号	計画事業名	事業内容	定員/人 (組)	回	延べ定 員	応募者 数	延べ 参加者数	受講率	満足(A)	アンケート 提出者 (B)	満足度 (A/B)	29年度実施内容	29年度の成果・今後の課題
8	男女平等 に関する 講座・講演 会	男女平等の意識づくりと理解 の促進に向けた学習の場・機 会として、講座・講演会を開 催します。	26	3	78	26	64	82.05%	21	21	100.00%	「幸せなママになるレッスン」 平成29年5月11日、18日、25日のすべて木曜日 対象：子育て中(乳幼児)の母親 第1回「ママのための子育てが楽になる女性学 ～忙しい中でも自分らしく～」石井クツ昌子(お茶の水女 子大学教授) 第2回「ママのマネーライフプラン～家族の夢を実現するた めに～」飯村久美(ファイナンシャルプランナー、FP事務所 アイプランニング代表) 第3回「ママのためのアンガーマネジメント～イライラからニ ニコへ～」相原あすか(一般社団法人 日本アンガーマネジ メント協会認定シニアファンリテーター、怒りの感情教育Clair代 表)	第1回は、ジェンダーに関する基礎的な知識や性別に捉わ れない対等な関係の持ち方、「自分らしい生き方」につい て、第2回はマネープランの初級編的な内容、第3回ではア ンガーマネジメント(怒りのパターンを知る・怒りの温度をは かる・"べき"の境界線・怒りのコントロール)について学ん だ。各回に共通して、いろいろな人の意見を聞いたり、グ ループワークを行ったことに対する評価が高く、楽しく話し 合っていた様子であった。アンケート結果に、講座申し込み の動機として、その他(託児があったから)という方が4名い た。感想にも「保育があったのが良かった」という声は多 かった。
			20	3	60	29	55	91.67%	18	18	100.00%	「フリーなママになるレッスン」 平成29年1月11日、18日、25日のすべて木曜日 対象：子育て中(乳幼児)の母親 第1回「ママのための女性学～子育て中でも自分らしく」石 井クツ昌子(お茶の水女子大学教授) 第2回「ママのための絵本時間～見えないものが見えてくる ～」木村民子(和洋女子大学非常勤講師) 第3回「ママのための自分探し～いいママからの卒業～」高 山直子(カウンセリング&サポートN)	母親向け講座として年2回開催していた「幸せなママになる レッスン」を講座名を変更して開催した。第1回の石井クツ 昌子先生はそのまま、2回目と3回目を新規の講師で開催 した。受講者の感想によれば「フリーなママになる」という講 座名が魅力的だったらしく、受講率が高かった。講師たちも その期待に応えて受講者の満足度は高かった。
			30	6	180								
14	男性の家庭 生活参画 促進に 関する普 及・啓発	男性の家事・育児・介護への 参画が進むよう、意識啓発に 関する事業や情報提供を行 います。	15	1	15	8	7	46.67%	13	14	92.86%	「これから親になるカップルのための父親学級」 12月3日 14:00～16:00 定員15組 講師 三木智有(NPO法人tadaima! 代表理事) 参加者：7組14名	葛飾区において、出産前のカップルを対象とした講座は、 おむつ替えや沐浴など育児の実践的な講座はあるが、男 性の家事・育児参加の啓発や、WLB、夫婦のコミュニケー ション、夫婦の有り方をテーマとした講座は少ない。産前 は、産後より時間的・精神的にも、今後の生活について考 える余裕があるため、啓発において高い効果が期待でき、 来年度以降も継続したい講座である。
			11	1	11	20	11	100.00%	11	11	100.00%	ママとパパの愛情アップ講座—お父さんのための「赤ちゃ んとの遊び、ふれあい」 対象：0歳児のお子さんとその両親 10組 講師：二瓶保(東立石保育園園長)ほか保育士3名 H29/7/9 参加者：11組22名	「産後うつ予防と骨盤体操」との合同講座とした。「産後」講 座の講師から「お母さんを支える」役割の大切さについての 話を夫婦揃って聞いていただき、男性の家事育児参画を促 すことができた。また、赤ちゃんと遊び方、ふれあい、子 育て中の事故防止などについて、保育士や看護師からの 説明があり、父親の育児へも関心が高まったと思われる。 両講座同時開催ならではの満足度につながったのではない かと思う。
			10	1	10	8	5	50.00%	5	5	100.00%	ママとパパの愛情アップ講座—お父さんのための「赤ちゃ んとの遊び、ふれあい」 対象：0歳児のお子さんとその両親 10組 講師：二瓶保(東立石保育園園長)ほか保育士3名 H29/11/19 参加者：5組10名	

5次計画 における 事業番号	計画事業名	事業内容	定員/人 (組)	回	延べ定 員	応募者 数	延べ 参加者数	受講率	満足(A)	アンケート 提出者 (B)	満足度 (A/B)	29年度実施内容	29年度の成果・今後の課題
15	男性向け 冊子の作 成	男性の家庭生活参画を促進 するため、男性の意識啓発 や家庭参画に関する情報誌 等を発行します。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	男性向けワーク・ライフ・バランス啓発冊子 「やってみよう！おれのワーク・ライフ・バランス@かつし か」 作成部数:12,000部(4,000部×3年分)	作成にあたり、公募区民4人と区でプロジェクトチームを結 成し、全5回の会議を開催した(H29/6/14、7/19、8/19、 10/4、11/8)。会議では冊子の内容検討、校正等を実施。 完成した冊子は、地区センター、図書館、子育て関連施設 等に配布を行った。
25	企画講座 (地域団体 向け)	地域での男女平等の意識づ くりを進めるため、男女平等 に関する学習・講座の開催を 希望する地域団体に対し、講 座の企画内容を提案し、開 催・運営を支援します。	30	1	30	26	24	80.00%	21	21	100.00%	企画講座(地域団体向け)ハハコモひろばと共催 「パパママ防災セミナー～地域と家族の防災を考えましょ う」 平成29年12月10日(日)午前10時～正午 洋室A 子育て中のパパとママ (1歳未満及び小学生の同席受講 可) 第1部 葛飾区防災課 大田聖家 第2部 アウトドア流防災ファシリテーターあんどうりす	ハハコモひろばさんとの共催で、保育対象外の児童や乳児 の同席受講を可としたためか、防災に関心をもつ若いパパ ママが多く集まり、防災課も驚くほどだった。葛飾区の情報 と役に立つ防災術が大変参加者に好評だった。 今度の講座運営で同席受講をどうすべきか試金石となる 講座であった。 募集段階で本事業の趣旨をより明確にする必要があるとも 感じた。
27	防災に関 わる講座	地域における防災活動につ いて、区と区民がともに、男 女平等の視点から考えます。	30	2	60	24	32	53.33%	42	43	97.67%	女性の防災リーダー養成講座「女性が考える防災に強い まちづくり」全2回 7月1日(土)、7月17日(月・祝)午後2時～4時 対象:中学生以上の葛飾区在住の女性 第1回 7/1 第一部 葛飾区の災害リスクと防災対策(防 災課職員 大田聖家) 第二部 避難所等で女性たちが抱 える課題(瀬山紀子 埼玉県男女共同参画推進センター事 業コーディネーター) 第2回 7/17 「避難所運営ゲームを体験しよう」青木千 恵、日向野みどり(NPO法人男女共同参画おおた)	参加者は皆真剣で、女性の視点の防災というテーマに興 味をお持ちの方が多いのだという印象を受けた。また、葛 飾区の防災に特化した内容も良かったという感想もあっ た。 実際に体験する避難所運営ゲームに対する評価が高く、 楽しく話し合えたようでよかった。少し難しかったため、繰り 返しやってみたいという声もあった。
28	ワーク・ラ イフ・バラ ンスに関 する普及 啓発	ワーク・ライフ・バランスへの 理解と普及を図るため、イベ ントにおける啓発活動を行 います。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	葛飾区産業フェア出展 パネルでイメージしてみよう!「あなたにとってのワーク・ラ イフ・バランス」 平成29年10月27日(金)～10月29日(日) 3日間 対象:産業フェア来場者 参加者数:1,466名	例年行っていたクイズではなくアンケートに変更した結果、 気軽に応じてくれる方が多くなった。子ども用に作成した リーフレット「カエルのひみつ」は好評だった。今年度は、ア ンケートによれば来場者は「仕事をしていない人」が多く、 アンケート終了後パネルに注目する人が少なかった。来年 度は、仕事をしていない人にもパネルを見てもらう工夫を 考えたい。
29	ワーク・ラ イフ・バラ ンスに関 する講座・ 講演会	ワーク・ライフ・バランスの実 践に向けて、その意義やライ フイベントに応じた多様な働 き方に関する講座を開催しま す。	15	1	15	4	2	13.33%	2	2	100.00%	ママとパパ、子どもというファミリーで参加できる講座として 「夏休みわくわく企画!働くママ・パパ応援講座」を開催し た。 そのうち「オトコの家庭進出実践講座&子どものおはなし 会、ジャンボカルタで遊ぼう!パパと子どものペアマッチ」 は父の講座として母親とは別会場で行った。おはなし 会には区の読み聞かせボランティアの方々をお願いした。 7月29日(土)午前10時～正午 対象: 小学校1～4年生までの子どもと父親 15組 講師: 三木智有(NPO法人tadaima! 代表理事) 応募3組のところ1名は体調不良で帰宅したため参加者は 2名だった。	本講座は、集客が難しい男性を講座に呼び込む目的で、 ～ママにも夏休み 私だけの時間、私だけの作品づくり～ と同時開催で企画したが、申込は少なく、集客面で課題が 残った。原因として考えられるのは、広報かつしかの同号 に子供向けの講座の特集ページがあり、同日開催の夏休 み宿題完成型の講座が複数あったことが考えられ、今後 は、あえて夏休みの時期を外して日程設定する、または広 報かつしかの掲載時期を早めるなど再考が必要である。
31	ワーク・ラ イフ・バラ ンス支援 アドバイザー 派遣事業	区内中小企業を対象にアド バイザー(社会保険労務士) を派遣し、ワーク・ライフ・バラ ンスの啓発及び育児・介護休 業法に則った就業規則の整 備を支援します。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー派遣事業 区内中小企業のうち、改正育児介護休業法に則った就業 規則が未整備の企業を対象に、アドバイザー(社会保険労 務士)を派遣し、啓発及び規則整備支援を行う事業。 募集期間:H29/4/1～H29/12/16 実施件数:4件	4件の申請の内訳は、医療・福祉(1社)、保険・金融(1 社)、建設業(1社)、運輸業・郵便行(1社)であった。就業 規則の整備状態はさまざまであったが、いずれの企業にお いても、新規採用者に対するアピールや、現在の従業員の 就業継続の観点から、ワーク・ライフ・バランスに対する関 心が高いと感じられた。

5次計画 における 事業番号	計画事業名	事業内容	定員/人 (組)	回	延べ定 員	応募者 数	延べ 参加者数	受講率	満足(A)	アンケート 提出者 (B)	満足度 (A/B)	29年度実施内容	29年度の成果・今後の課題
32	企業向け セミナー	ワーク・ライフ・バランスの推 進や育児・介護休業制度の 定着を図るため、区内の企業 向けにセミナーを開催しま す。	50	1	50	31	34	68.00%	28	28	100.00%	誰もがいきいきと働ける職場の仕組みづくり 平成29年9月7日(木)午後2時～午後4時 講師:鈴木恵里子(株式会社トーリン代表取締役社長) 対象:区内の中小企業の経営者、労務・人事部門担当者、 一般の方	例年より多くの参加があった。内容がとて具体的で好評 だった。今年度はテクノプラザ工事のため、ウィメンズバル で開催した。介護事業所むけの内容のため介護保険課に データ送信を依頼し集客にかなり成果があった。今後は関 連業種があれば、区他課と連携して周知すべきだと感じ た。東京商工会議所葛飾支部経由での申込者もあり共催 セミナーの強みを今後も生かすべきだと感じた。
33	事業所向 け情報誌 の発行	ワーク・ライフ・バランスに関 する取組や行政等による支 援・相談体制の情報提供等 の周知啓発のため、区内事 業所向けに情報誌を発行し ます。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「Loop(事業所向け情報誌)」(平成30年1月発行) 発行部数 5,600部 ※区内施設で配布するほか、葛飾法人会に委託し、中小 企業に配布。(法人会送付部数 4,000部)	全体のメインテーマは昨年度と同様の「ワーク・ライフ・バラ ンス」とし、企業向けセミナーの要旨の他、介護と仕事の両 立支援およびマタニティハラスメント防止対応について、そ れぞれの寄稿を掲載した。 また、「ワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー派遣事 業」を利用した企業のインタビュー記事も掲載した。
34	再就職講 座	出産・育児・介護等で離職し た女性が再就職するために 必要な情報をさまざまな角 度から提供し、再就職に役立つ 講座や講演会を開催します。	50	1	50	39	33	66.00%	32	33	96.97%	「女性再就職支援セミナー+個別相談会in葛飾」ココだけは 押さえておきたい!～私らしく働くための自己理解と仕事の 探し方～ 平成29年9月28日(木)午前10時00分～正午 講師:2級キャリアコンサルタント技能士 内田 ひとみ氏 (東京都しごとセンター事業受託事業者(株)パソナ) 対象:再就職を考えている女性30名	自己理解がメインであったため、講師の話のみではなく、 ワークの時間を多くとってあり感想でも良い評価が多かつ た。座席配置等に関しては、プロジェクターが見えにくい席 や、通路を確保ができていない箇所があったため、次回は 配置等を考慮したい。
35	女性のた めのごと 相談	女性を対象とした再就職・起 業、各種ハラスメントなど、職 場での悩みに対して、専門家 が情報提供等を行います。	75	1	75	80	50	66.67%	35	40	87.50%	「女性の働き方とキャリアアップを考える～働き続けたい職 場づくり～」 平成29年7月19日(水)午後1時30分～午後4時30分 対象:就業している方、テーマに関心のある方等 定員:75名 講師: 坪 由美子(弁護士)	東京都労働相談情報センターとの共催事業。講義中心で はあるが、受講者同士の意見交換と発表、講師からの問 いかけなどが講義の合間にあり、参加型のセミナーであ った。講師の就業中の妊娠・出産、子育て経験など実体験に 基づいた説明があり、分かりやすい内容であり、参加者か らは大変参考となった旨の感想も寄せられている。
46	「性と生殖 に関する 健康と権 利」事業	生涯にわたる女性の健康づく りや女性特有の健康問題、 生殖に関して女性が主体的 に考え自己決定を行うことな どについて、情報提供や講 座・講演会を行います。	11	1	11	20	11	100.00%	10	11	90.91%	ママとパパの愛情アップ講座「産後うつ予防と骨盤体操」 講師:井出陽子(助産師) 対象:産後1年未満の女性 H29/7/9	産後の心と身体のケアの重要性を学ぶ講座と共に、情報 交換をできる場ともなった。あわせて、お父さんのための 「赤ちゃんとの遊び、ふれあい」講座と同時開催のため、お 母さんは安心して子どもから離れることができ、ゆつくと講 座に参加できたことを評価する声も多く、高い満足度を得 た講座であった。
			10	1	10	8	5	50.00%	5	5	100.00%	ママとパパの愛情アップ講座「産後うつ予防と骨盤体操」 講師:井出陽子(助産師) 対象:産後1年未満の女性 H29/11/19	
70	女性に対 する暴力 をなくす運 動の推進	女性に対する暴力をなくす運 動として、パープルリボン・啓 発カード等の配布やパネル 展示などの啓発活動や講座 等を行います。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	女性に対する暴力をなくす運動期間11月11日(土)～27日 (月)女性に対する暴力を考えるパネル展示等 リボン配布数210個、クリアファイル配布数44セット、ばる かふえ参加6名 「デートDV基礎講座～子どもの幸せのために親ができるこ と～」11月18日(土)13:30～15:30 講師 中野 宏美(NPO法人しあわせなみだ代表) 参加者:7名	昨年度、パネル展示会場が暗かったため、側面のパネル の設置はせず、光が入りやすいように工夫した。加えてパ ネルの上部分にイルミネーション(パープルライトアップ)を 設置した。パープルリボンツリーは外から見える窓横に設 置した。ツリーに飾り付けて頂いたリボンは約88個で、アン ケートでも大変好評であった。DV防止週間にDV関係の講 座を開催している関係施設が多いため、講座の時期をずら すことも検討したい。

5次計画 における 事業番号	計画事業名	事業内容	定員/人 (組)	回	延べ定 員	応募者 数	延べ 参加者数	受講率	満足(A)	アンケート 提出者 (B)	満足度 (A/B)	29年度実施内容	29年度の成果・今後の課題
76	配偶者暴力防止に関する冊子等の作成・配布及び相談窓口の周知	配偶者暴力防止の啓発のための冊子等の作成・配布を行い、相談窓口の周知を行います。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DV予防啓発冊子(ひとりで悩まないで～DVハンドブック～)1,000部	26年度に作成して好評だったものを改訂し増刷した。DVについての基礎知識を、若年層向けに分かり易くまとめた冊子であり、イラストや漫画を使用している。改訂部分はストーリー規制法の改正部分の追記や内閣府の調査の数字を新しい年度のものに変更するなどが主であり、大きな変更はなかった。DV関連の講座や関係部署に配布を行った。
82	DV関係機関との連携会議の運営	被害者支援に関わる所管課及び警察・病院等との連絡会議を開催し、被害者保護や自立のための連携を強化します。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「DV防止関係機関連絡会」全2回 第1回：意見交換 平成29年7月27日(木)午前10時～正午、 参加者：関係機関18名、事務局5名 第2回：講義「精神疾患を抱えたDV被害者の多機関での連携支援について」 平成29年12月21日(木)午後2時～4時 講師：鈴木祐貴子(精神科医) 参加者：関係機関17名、事務局4名	第1回の連絡会において「相談者はメンタル面での課題を抱えている」との発言や出席者が希望する研修テーマに「多機関での連携支援、DV被害者の心のケア」という意見をふまえ、第2回は、DV被害者に見られる精神疾患の知識とつつ、PTSD等の精神疾患を抱えるDV被害者への対応についての講義を行った。被害者心理や支援者の課題等について理解が深まり今後の職務に役立つと、好評を得た。一方、講義のほかに出席者の情報交換もあり、限られた時間での進行は厳しく、各回の実施内容や開催時間について、検討したい。
83	窓口職員等研修	配偶者暴力に関する正しい認識と二次被害防止のため、窓口職員をはじめとする全職員を対象としたDVに関する研修を行います。	55	1	55	62	56	101.82%	-	-	87.50%	「DV被害の現状と窓口対応について」 平成29年8月24日(木)午後2時～午後4時 講師：安藤由紀(東京ウィメンズプラザ 相談担当 主任専門員)、石田恵美代(東京ウィメンズプラザ 相談専門員) 出席者：一般職員(窓口) 56名	割り当ての講座であるため、受講者の担当業務によりDVの知識や被害者・加害者との関わる頻度が異なる。割り当ての職員講座は、被害者・加害者の対応を具体例を多く紹介し、グループワークでロールプレイなどの実用的な内容で再考が必要である。
85	さまざまな暴力防止に向けた講座・講演会	男女がともに人権を尊重しあえるよう、さまざまな暴力の防止に関する講座や講演会を開催し、暴力防止の啓発を行います。	70	2	140	33	28	20.00%	25	26	96.15%	「国際ガールズ・デイ企画 女の子たちの今～セカイとニッポン」第1回「セカイの女の子について考えよう。『Girl Rising ～私が決める、私の未来～』映画上映&ミニ講演」 平成29年10月15日(日)13:30～16:00 講師：寺田聡子(公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン(広報マーケティング部広報チーム シニアオフィサー)) 第2回「ニッポンの女の子について考えよう。JKお仕事・AV出演～巧妙な誘いに乗らないために」 平成29年11月5日(日)13:30～15:30 講師：橋ジュン(NPO法人BONDプロジェクト代表)	第1回の受講者アンケートに、①女性限定にする必要はないのではないか、②募金箱があるとよかったという意見が書かれていたため、第2回の冒頭で回答した。①については、初めての企画でもあり、会場にJKビジネスやAV関連の事業者が紛れ込んで進行を妨害する恐れと、講師に危害を加える恐れを回避するため、また暴力を受けた当事者が受講しやすいようにという理由を説明、②については、募金箱は置けないことを説明し理解を求めた。今後、男性やカップルで受講してもらえるような対策を考えたい。また、教員の参加があったことで、積極的に学校にアプローチして教員や生徒たちにも受講してもらえるような対策が必要と感じた。
86	人権啓発紙による啓発	全戸配布の人権啓発紙において、交際相手や家族間の暴力、性暴力、各種ハラスメントなど職場における暴力の根絶に向けた啓発記事の掲載や情報提供などを行います。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「こんにちは人権(全戸配布の情報紙)」 (H29/11月発行) 発行部数239,500部	基本のDVの基礎知識についての記事を、読者がイメージしやすくなるようイラストを多用して作成した。被害者向けではなく、「身近にDVの被害にあっている人がいたら」を想定した内容とした。また、「AV(アダルトビデオ)出演強要問題」JK(女子高生)ビジネス問題」についてもコラムを掲載し、予防啓発をおこなった。女性に対する暴力に重点を置いた記事となったため、男性の被害者もいる旨の注意事項明記があっても良かった。

5次計画 における 事業番号	計画事業名	事業内容	定員/人 (組)	回	延べ定 員	応募者 数	延べ 参加者数	受講率	満足(A)	アンケート 提出者 (B)	満足度 (A/B)	29年度実施内容	29年度の成果・今後の課題
91	多様性に関する講座・講演会等【新規】	性別や文化、価値観などの違いにとらわれることなく、個人の人権が尊重され、その能力を充分に発揮できる社会を目指し、多様性に関する講座を開催します。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	事業番号5に記載と同じ	事業番号5に記載と同じ
93	男女平等推進センター及びセンター事業の周知・情報発信	広報活動やイベントの開催などを通じて、男女平等推進センターや実施事業の周知を行い、センターの認知度向上及び利用促進を図ります。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	広報かつしか6月25日号男女共同参画週間特集、こんにちは人権(年1回)、Loop(年1回)、男女共同参画カレンダー(年1回)の発行・配布のほか広報かつしか及び区ホームページによる情報掲載を行い、男女平等や男女共同参画の意識づくりに努めた。	イベント情報や啓発記事は、広報かつしかへの掲載、チラシの配布を作成して広報を行った。区ホームページだけでなく、フェイスブック・ツイッター等のSNSを活用した。今後も効果的な広報媒体を活用し、情報発信を強化し、男女平等センターの利用者の拡大及び、男女平等の意識づくりに努めていく。
94	男女平等に関する書籍等の収集・提供	男女平等意識の啓発を図るため、男女平等に関する書籍を図書資料室で収集し、閲覧・貸出を行います。また、その他のパンフレットやチラシ等についても館内に配架し、情報提供に努めます。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	年5回、男女平等・人権に関する図書購入をし、男女平等推進センター図書資料室にて区民に閲覧・貸出をした。	講座講師の書籍や講座テーマに関する書籍を積極的に所蔵した。講座開催時に教室内に関連する図書を展示したり図書資料室で事前に関係資料の特集展示を行った。「バルフェスタ」で図書資料室の紹介パネルを展示し図書資料室の周知に努めた。
98	男女平等推進本部	男女平等推進計画の推進を図るため、庁内組織である推進本部を運営し、全庁を挙げて取組を進めていきます。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	H29/6/22 政策・方針決定過程への女性の参画状況調査結果 等	政策・方針決定過程への女性の参画状況調査結果、第4次男女平等推進計画進捗状況調査報告、平成28年度男女平等推進事業実施報告を行った。
99	男女平等推進審議会	葛飾区の男女平等推進施策を推進するため、男女平等推進審議会を開催し、計画の進捗評価等を行います。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	H29/7/12、H30/2/8 全2回 ・第1回 政策・方針決定過程への女性の参画状況調査結果 等	事業未終了
100	男女平等苦情調整委員会	男女平等社会の実現を阻害すると思われる、区の施策や事業、職場や地域等に対する苦情の申立てを受け付けます。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成30年1月11日(水)午後2時～午後4時 ・政策・方針決定過程への女性の参画状況調査結果 等	政策・方針決定過程への女性の参画状況調査結果、第4次男女平等推進計画進捗状況調査報告を行った他、平成29年度から開始された第5次男女平等推進計画の概要説明を行った。出席者の苦情調整委員3名の活動近況報告等も行われ、男女平等推進に関する提言等をいただいた。